

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム どんぐりの里

目標達成計画

作成日: 平成 31 年 2 月 1 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	理念は職員による支援の基本指針でもある。職員体制が固まってきたこともあるため、今後に向けた具体的な理念の実践につなげる。	職員へ理念の周知徹底を行い、共通の認識のもと質の良いサービスへつなげる。	全職員へ理念の周知徹底を行うために、定期的な会議の場を設け、理念に基づいたサービスの提供へつなげていく。	6ヶ月
2	10	定期的なホーム便りの作成に取り組む。	毎月ホーム便りの作成を行い、ご家族や地域の方へ運営状況を知っていただく。	ホームでの日頃の様子や活動内容を便りにし、ご家族や地域へ発信していく。	3ヶ月
3	23	現状、非常勤職員が多いこともあり、定期的な職員間での情報交換が難しい状況でもある。職員間で利用者を担当する等、利用者の把握につながるよう取り組む。	個々の状況を把握し、全職員が情報の共有を行う。	非常勤職員が多いが定着しているため、ご利用者様の担当を決め、個々の状況を把握し、全職員が情報の共有を行うことで質の良いサービスへつなげていく。	6ヶ月
4	26	職員間での定期的な情報交換の機会がとられていないことで、モニタリングの実施が充分とは言えない状況でもあるため、定期的な実施状況のチェックを行う。	定期的なモニタリングの実施を行い、適切なケアプランにつなげる。	計画作成担当者を中心に定期的なモニタリングを行い、適宜、適切なケアプランの見直しを行い、質の良いサービスへつなげていく。	6ヶ月
5	35	ホームは水害が想定される地域であり、ホーム建物も平屋建てである。水害に備えた関係機関との継続した協力関係を築く。	災害時にスムーズに避難が行えるよう、日頃より、地域や関係機関との連携を図る。	年に2回の避難訓練の実施や地域で行われる避難訓練などの行事に参加し、日頃から地域や関係機関との連携を図る。	6ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。